

「マイナンバー」通知カードが郵送されます

10月5日から家族全員のマイナンバーを書いた通知（通知カード）が各世帯に郵送されます。マイナンバーは来年以降、税の申告などで必要になります。希望すれば写真付きの個人番号カードの交付を無料で受けることができます（平成28年1月以降）。将来は、個人番号カードがあれば住民票をコンビニで交付を受けることも可能になるかもしれません。

マイナンバー制度のスタートに併せ改正された手数料条例では、マイナンバーの通知カードと個人番号カードの再交付手数料の規定が新たに設けられました。 予算額[2073万円]

新しいごみ処理施設では個人での持ち込みが可能に

杵藤クリーンセンターでは、個人でのごみ持ち込みができませんが、平成28年1月より稼働する伊万里市に建設された佐賀西部クリーンセンターでは個人での持ち込みが可能となります。これに伴い廃棄物の処理に関する条例の規定が改正されました。

粗大ごみが家庭で急に発生した場合などは自分で持ち込めるので、便利になります。料金は10kgあたり80円です。

空家条例に緊急安全措置規定などを追加

空家等対策の特別措置法が施行されたことに伴い、市の空家条例に緊急安全措置や空家等対策計画などの規定が追加されました。

空家は防犯上も環境上も地域の悩みでした。武雄市では他の地域に先駆けて、杵藤地区の市町と一緒に条例を制定し対応してきました。国もこうした地方の動きや法制化を求める声に応え法律を施行しました。法律の施行と空家条例の改正により、効果的な空家対策が期待されます。 予算額[20万円]

賑わい創出の調査事業が行われます

市内の賑わいを創り出すことを目指し、どのような課題が街中にあるのか、どのような事業が効果的なのか、調査やモデル事業が取り組まれます。経費の全額が国の交付金でまかなわれます。これらの事業は広くお知らせし、定住促進などにもつなげられます。

賑わい創出は長年取り組んできた事業分野、地方創生が国を挙げて叫ばれる昨今、図書館改革で知名度を高めた武雄の官民そろっての取り組みが期待されます。 予算額[650万円]

武雄温泉保養村の魅力さをさぐる調査が行われます

佐賀県立宇宙科学館や池の内湖をはじめ、保養村には豊かな自然と温泉があります。保養村の魅力さをさらに引き出し見つけ出し、利用者の増加につなげるための調査が行われます。

この夏にリニューアルした佐賀県立宇宙科学館は1か月間の入館者が去年の1.7倍に達し、6割が県外からの来館者でした。保養村にはまだまだ未開の魅力が眠っているようです。 予算額[300万円]

保養村の公衆便所がきれいになります

保養村おもてなしの一環として、ポート乗り場に隣接した広場の公衆便所が改築されます。宇宙科学館のリニューアル効果で来場者が増加しており、みんなのトイレの増設など利便性の向上が期待されます。 予算額[1910万円]

武雄温泉駅観光案内所が充実します

駅の観光案内所に観光案内専門スタッフが配属されます。駅は観光客が第一歩を踏み下ろす場所。駅のイメージがまちの印象を創ります。温泉や歴史、オルレや図書館など多様な魅力をもつ武雄市の魅力を観光客の皆様に伝えるため、観光案内の専門員が配置されます。

市の焼き物や特産品などを紹介するコーナーも充実が図られます。おもてなしの心で武雄の魅力を余すことなく伝えていただきたい。 予算額[527万円]

スマイル学習がますます充実します

動画を活用して予習を行い、授業では学び合い教え合うスマイル学習に国語が追加されます。これまでは算数、理科、数学でスマイル学習が導入されていました。国語は文章を読み解き文章を書くうえで学習の基本となる教科、スマイル学習の導入で児童・生徒の理解がさらに深まることを期待されます。 予算額[35万円]

官民一体型学校の広がり備えて

武内小学校、東川登小学校で取り組まれている官民一体型学校、来年度から新たに実施する小学校がこの秋に決定される見通しです。来年度からの授業実施に備えるため、所要の教材費が準備されました。

小学校と地域の方々とが一体となって新たな学校を作り上げていく官民一体型学校は、民間のノウハウを取り入れ、地域の人々とともに授業が行われます。児童たちの明るい声が地域を元気にしています。 予算額[96万円]